



—記者発表資料—

令和3年5月6日

日本下水道事業団

JSが共同提案したB-DASHプロジェクトが採択されました

—ICTを活用した下水道施設広域管理システム—

国土交通省が令和3年度に実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）において、日本下水道事業団（JS）が代表者となり倉敷市と民間企業5社と共同で提案した「ICTの活用による下水道施設広域監視制御システム実証事業」が採択されました。

JSでは、様々な課題に対応した新技術を積極的に進め、下水道ソリューションパートナーとして、地方公共団体のニーズに応える技術の開発・実用化を促進していきます。

事業名： ICTの活用による下水道施設広域監視制御システム実証事業

実施者： 日本下水道事業団（代表者）・東芝インフラシステムズ(株)・(株)日立製作所・三菱電機(株)・(株)明電舎・メタウォーター(株)・倉敷市 共同研究体

実証フィールド： 岡山県倉敷市

概要： 下水道施設に設置された複数の監視・制御システム等を、大規模な改修を行うことなく統合できる共通プロトコル方式、リモートデスクトップ方式で構成される広域監視・制御システムを設置し、「通信の信頼性・安定性の確保」、「建設費・維持管理費の削減効果」を実証する。

（問い合わせ先）

技術戦略部 次長 井上 剛

TEL：03-6361-7838

FAX：03-5805-1828

E mail：Tsuyoshi-Inoue@jswa.go.jp